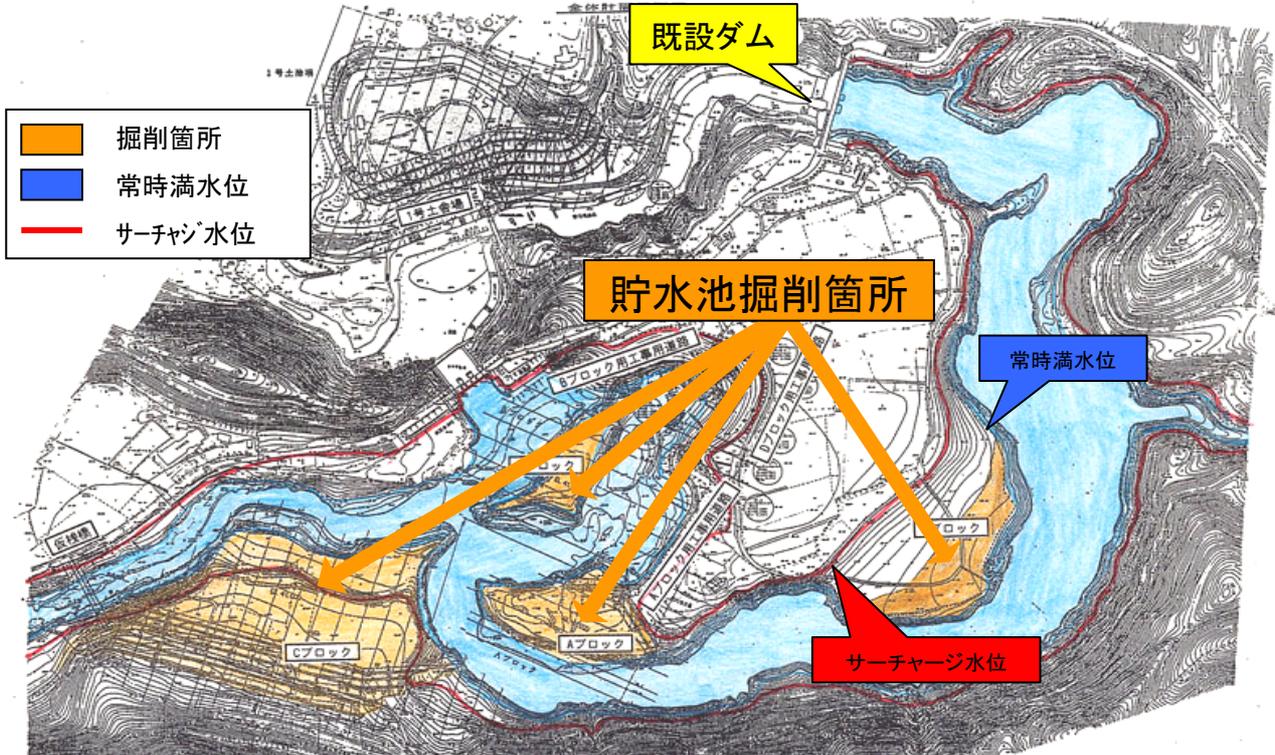


既存ストックの有効活用

目的

貯水池内の掘削(サーチャージ水位以下または付近の掘削)による貯水池容量(治水・利水)の確保



代替案比較(①or②)

新たに貯水容量462千m³を確保するために

①既存ダムの再開発(現計画)

②代替新設ダムの建設(仮想)

既存ダムの再開発のイメージ



再開発のメリット

- ・新規ダムに比べ自然改変面積が小さくて済む。(0.29 km²の減少)
- ・新規ダムを建設するより経済的に有利である。(10億円縮減)

